つなぐ

令和7年
4月7日

NO.2
不定期発行

進路より

🌸ご卒業おめでとうございます🌸

3月 11 日、9人の生徒が高等部を卒業しました。

R6年度の卒業生は、企業就労4名、就労移行支援1名、就労継続B型3名、職業訓練校1名にそれぞれ進路決定しました。進路について考えたり実習を重ねたりする中で、悩みながらも全員が自分の意思をしっかり持った進路選択をしています。自分らしく生活できる進路について考え自分で決めたこと、進路の教員として大変嬉しく思います。この4月からは社会人です。これからも嬉しいこと、楽しいこと、悩むこと・・・、色々なことがあり、様々な経験がみんなを成長させてくれます。これから立派な社会人にさらに成長していくこと楽しみにしています。自分らしい豊かな人生を歩みながら、社会を創る一員として活躍してくれることを願っています。

生徒達の自己選択を支えていたのは、普段の学校生活や家庭での努力・成長です。自分の生活の管理、コミュニケーション、報連相などなど、在学中でも学べることはたくさんあります。学校生活で学んだことを実習で活かし、卒業後の社会人生活で活かす。学校生活の延長に社会での生活があると考えています。仕事のスキルよりも社会性を伸ばすことに着目する。本人の思いを尊重し自己選択・自己決定を目指す。それらを大切にした進路指導をこれからもすすめていきます。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

進路専任　伊藤　巧

特別支援教育コーディネーターより

🌸お互いにつながりのある人生を🌸

R6年度は特別支援教育コーディネーターとして過ごして、たくさんの子どもたちや保護者の皆様と関わる機会をいただけた1年間でした。学校内では、毎日少しずつ「できる」を増やしていく子どもたちの成長を感じたこと、学校外では、さらに広い世界で過ごす大人たちの姿を見ることは私にとって、本当に貴重な経験でした。今年の経験の中で、とても心に残っている言葉があります。

『自立とは、自分の支援者を増やすことである』

私たちは、成長と共に「できる」ことが増えていくことから、「自分一人でできること」が大人の証明であるように感じる人が多いのではないでしょうか。しかし、一人きりでできることとは意外に少ないと感じたことはないでしょうか。私自身も今年、様々な専門機関の方と関わることで、たくさんの人ができることを積み重ねていくことの重要さを感じることができました。誰かと共に生きるこの現代社会だからこそ、多くの人が「互いにできることをつなぎ合わせていく」ことで、より豊かな社会にできるのではないでしょうか。自分の力を伸ばして「誰かの力」になること、相手の得意分野を知って「頼る」こと。どちらも大切にしていきたいものですね。 これからも、より良い学習、生活を支えられるよう尽力して参ります。今後も、よろしくお願いいたします。

特別支援教育コーディネーター　古謝